

立田慶裕教授を送る

水谷 勇

国立教育政策研究所に永く勤められ、生涯教育・成人教育分野の重鎮第一人者のお一人である立田慶裕教授を2014年に本学にお迎えして早10年にならんとして、このたび、ご定年による退職を迎えられた。

旺盛な研究活動と意欲的な講演活動を展開されて本学に立田在りと、本学の名声を上げていただいた。とりわけ、読書活動、図書館の充実に力を入れられ、神戸市の教員育成指標にも本学教職課程の代表として参画されて一文入れるなど、先生の業績は大なるものがある。

教育学者として教育の自立性と主権者国民の形成を図ることに力を入れて、大学の自立性を大事にしながら本学の教職課程の発展に尽力してきた人間からは、ICT教育など時代の最先端を行かれて、本学の研究・教育と教職課程の運営の改革を図ろうとされてきた先生からは、歯がゆい思いを抱いてこられたことと思う。にもかかわらず、先生の豪腕もあって、先生が開発に助力された manaba の導入と活用の道筋をつけ、本学の研究・教育に大きく貢献された。

先生のこれらのご業績の足下にも及ばないが、先生のご業績を引き継ぎ発展させて、国民主権の堅持と大学の自治を守りながら、本学の教学を通しての有為な人材輩出に一層励むことを表明して、先生のご退職への贈る言葉としたい。